

坂井先生は僕の心が読めるのだろうか・・・実は最近、「マインドマップ」と言う言葉を知りまして、社員会議で使ってみようかと思ってたんです。その、マインドマップをPC上で作るソフトがまさに本文に書いてある「FREE MIND」なんです！！さすが坂井先生！！一心同体ですな！（^o^）/ 光栄でございます・・・しかし、最近はPC上で何でも出来ますねぇ～・・・写真のサイズをまとめて揃えたり、詩を書いたらロボットが歌ってくれたり・・・恐るべしIT技術！！ 久田

## 第20回 『わかるように伝えていますか』

香川大学 坂井 聡

### ☆きれいなレポートを書くためには

レポートなどの課題を整理する

レポートや卒業論文を書くようなときに、どのように書いてよいのかわからない学生もいます。自分の考えをうまくまとめることができないということであろうと思われます。東京大学で障がいのある人の支援について研究している中邑と近藤は、そのような学生に対してパソコンで考えをまとめることができるようなソフトを使うことが効果的ではないかと述べています。

そして、そのようなソフトの紹介もしています。例えばFREE MINDというソフトがあります。このソフトはもともと仕事の企画などを立てる際に使われているものなのですが、自分の考えなどを画面上に整理して表示することができるので、視覚的にわかりやすく自分の考えをまとめることができるという点で、レポートなどを書く際に役立つのではないかと考えられるのです。

これらのソフトの力を借りて、自分の考えを図にして考えを整理するということです。

発達障がいのある学生のなかにはパソコンなどのIT機器については、高い興味と関心を持っている学生もいるはずです。そのような学生のなかには、これらのソフトも苦にせず使用することができる学生も多いのではないかと考えられるのです。

実際に私も学生の考えを整理するときにこれらのソフトを使って視覚的にわかりやすくして見せるようにしています。学生も考えがまとまるようで、安心して相談にくるようになります。

誤字脱字を修正する

レポートなどを書いたときに誤字や脱字が多いことで悩んでいる学生がいます。最近ではレポートをパソコンのワープロソフトで書くことが多いので、手書きでレポートを書くよりも誤字や脱字は少なくなっているのではないかと考えられます。パソコンが簡単な操作で漢字等を適切に変換してくれるからです。また、手書きよりも読みやすい文字でレポートを作成することもできるようになっています。このような環境は発達障がいのある学生にとってはプラスに作用するのではないかと考えられます。しかし、これでもなお誤字や脱字が多いようなケースもあるのです。このようなときには、自分で読み直しをする習慣をつける必要があります。しかし、こちらから「三回は読み直すように」と助言をしても、「はい」と返事をするだけで、それを実行に移さない学生もいます。どのようにすればよいのかわからない場合も考えられます。このような場合は、さらに具体的な助言が必要なかもしれません。具体的な例として付箋紙などをパソコンに貼っておく方法などが考えられます。三回読み直すというのであれば、三枚の付箋紙をパソコンのデスクトップの画面に貼っておくという方法です。付箋紙には「誤字脱字があったら修正する」と具体的に書くようにします。そして、一回読み直しが終わったら、その付箋紙を一枚はずすというようにするのです。このような方法で、読み直しをすることができるになれば、誤字脱字も少なくなると考えられます。

また、行などを飛ばして読んでしまうために、誤字や脱字が増えてしまう場合もあると考えられます。このような場合には、パソコンの画面上で一行ずつ文字を大きくして、その行だけを読みやすくするようなソフトが使えるのではないのでしょうか。先出の中邑と近藤は、ScreenRulerというソフトを紹介しています。拡大表示をしたり、マスキングをしたりすることができるソフトで、このようなソフトを使って、読みなおすことで誤字脱字を修正し、自分の力で解決できるように提案していくということなのです。

色々なソフトが出ていたことがわかったと思います。ちょっとした方法で解決できることもあることがわかったと思います。いろいろ試してみることが大切ですね。

### 坂井聡先生の紹介

(プロフィール)

香川大学教育学部卒業 金沢大学大学院教育学研究科修了、香川大学教育学部附属養護学校など養護学校教諭を経て、現在香川大学教育学部障害児教育コース准教授 1997年 自閉症のコミュニケーション指導で辻村奨励賞受賞

(著書)

暮らしの中のコミュニケーション（やまびこの里）クラスルームコミュニケーション（こころリース出版会）自閉症や知的障害をもつ人とのコミュニケーションのための10のアイデア（エンパワメント研究所）など